



<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/koho/kanto/>

目次

“図書館へ行こう。”キャンペーン開催中！……	1
ブックトーク 新入生にすすめる本 ……………	2
名大図書館探索ガイド ……………	3
基礎セミナー「将来から現在を考える」 授業資料ナビ開設の効果…	4
附属図書館 2011 年春季展開催中 ……………	6
「大学教育改革フォーラム in 東海 2011」が 開催されました …	6
生命農学図書室へようこそ……………	7
利用できる電子ブック・データベースが増えました！ …	9
ブックハンティングを開催しました ……………	10
平成 22 年度特別図書（人文・社会科学系）一覧 ………	11
本学教員著作物寄贈リスト ……………	13

“図書館へ行こう。”キャンペーン開催中！

文学図書室
教育発達科学図書室
法学図書室
経済学図書室
国際経済政策研究センター
情報・言語合同図書室
理学図書室
工学部・中央図書室
機械・電子機械・航空図書室
電気・情報図書室
化学・生物系図書室
土木系図書室
建築学図書室
生命農学図書室
国際開発図書室
環境医学研究所図書室
太陽地球環境科学センター図書室
総合保健体育科学センター図書室
地球水循環研究センター図書室
情報基盤センター図書室
アイントロップ総合センター図書室
医学部分館保健学図書室
中央図書館

図書館へ行こう。

行ってみなくちゃはじまらない。
～大学図書館探検～

名古屋大学には約30の図書館や図書室があります。各学部図書室等には、分野に関連した専門的な資料があります。

- ・ 専門のデータベースの使い方が知りたい
 - ・ 電子ジャーナルの利用について聞きたい
 - ・ 名古屋大学にない図書・雑誌論文を取り寄せたい
- …こんなときは所属の図書室でおたずねください。
もちろん、他学部の図書室も利用することができます。

キャンペーンの一環として名古屋大学の図書室を巡る“大学図書館探検”ツアーも企画中です。詳細は附属図書館HPでお知らせいたします。

あなたの図書室のドアを開けて、
まず入ってみてください。

附属図書館HP

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/>

《ブックトーク》

新入生にすすめる本

今回から新コーナー「ブックトーク」が始まります。

毎回このコーナーでは、名古屋大学の教員・学生の方がお勧めする本を紹介していきます。名古屋大学の図書館(室)で所蔵している本は、ぜひ手に取って読んでみましょう。

第1回目は、生命農学研究科の方々から、新入生のみなさんにお勧めの本を紹介していただきました。

『遠き落日』(上巻、下巻)

渡辺淳一著 角川書店 1979年刊

学童向けの伝記では語られることがなかった野口英世のかげりについて描かれており、伝記中の野口英世が身近に感じられる内容です。寝食を惜しんで研究に没頭する姿と遊興にふける姿とのギャップが英世の魅力を実際立させています。生物系の研究者を目指す方に読んでもらいたい一冊です。私はイギリス留学時に何度も読み返しました。

(生命農学研究科 准教授 村井篤嗣)

<所蔵：中央館ほか>

『これからの「正義」の話をしよう』

マイケル・サンデル著 早川書房 2010年刊

皆さんは、自分とは違う意見の存在をどう思いますか？ムカつきますか？それとも当然と受け止められますか？長年に渡りハーバード大学で政治哲学を講義してきた著者マイケル・サンデル教授は、この本の中で「正義」についての異なる考え方を示し、それぞれの強みと弱みを探っていきます。そして、「正義に関する自分自身の見解を批判的に検討することで、自分が何を考え、またなぜそう考えるのかを見極めてはどうだろう」と投げ掛けます。この本は「人の意見を素直に聞く」手助けになると思います。これから出会う人の様々な考えを通して成長し、有意義な4年間を過ごして下さい。

(生命農学研究科 助教 犬飼義明)

<所蔵：中央館ほか>

『サンデルの政治哲学 — <正義>とはなにか』

小林正弥著 平凡社 2010年刊

「生きている理由は？」

その問いに対する答えはこの本では見つけられません。自分なりの答えを見つけるヒントを提案してくれます。功利主義・リベラリズム・リ

バタリアニズム・コミュニタリアニズムなどの哲学的基礎をわかりやすく解説しながら、哲学の原点である「対話」への参加を促してくれる本です。

(生命農学研究科 助教 稲垣哲也)

<所蔵：法学部ほか>

『すぐれた意思決定 — 判断と選択の心理学』

印南一路著 中央公論社 1997年刊

今日の昼食は何にしよう？どこに就職しよう？ 私たちは毎日、様々な事に対して選択をし、判断を下しています。「私の勘はいつも当たる」、「僕は運が悪くて」等々…これらは認識や記憶の偏りで、意思決定に影響を及ぼしているかもしれません。本書は人間や組織が意思決定する際に陥りやすい 情報や認識、判断の罠を解説しており、思考の枠を広げてくれます。理系文系を問わずお勧めです。

(生命農学研究科 大学院研究生 石川葉留奈)

<所蔵：中央館>

『やるべきことが見えてくる研究者の仕事術

— プロフェッショナル根性論』

島岡要著 羊土社 2009年刊

本書は、なかなかとっつきにくいマネジメント本の類(近頃流行りのドラッカーなど)を、ハーバード大の研究者である著者が自分の考えを交えつつ平易にまとめたものである。「研究者のための」となっているが、理系も文系も関係なく、どの分野の方にも参考となるだろう。巻末に付録として紹介されている著者のオススメの20冊も合わせて読むことで、己のキャリアについて早い時期から考えてみてはいかが？

(生命農学研究科 COE研究員 下津祐樹)

<所蔵：中央館ほか>

名大図書館探索ガイド ～中央図書館講習会・ツアー～

新入生のみなさん、図書館にはもう入ってみましたか？名古屋大学の図書館には約300万冊の本があるだけでなく、快適に学習できるスペースやPC、オンラインで使える検索システムなどがあります。情報の海でおぼれないように、大学での学習に欠かせない「図書館の泳ぎ方」をご紹介します。

基本コース：新入生、初めて名大図書館を使う方

コース	内容
図書館資料探索法	名大図書館の概要と、図書を探して入手するまでの流れを実習しながら紹介します。
館内ツアー	中央図書館の図書の配置や施設の利用について、館内を回りながら説明します。
図書館で資料を探す	レポートを書くのに使える資料とは？図書館やインターネットで資料を集めるときの基本を学びます。

応用コース：調べたいテーマがある方、探し方を詳しく知りたい方

コース	内容
日本語論文の探し方	レポートの資料探しに、日本語で書かれた学術論文の探し方の基本を学びます。
電子ブック入門	PCを使って事典や参考図書で調べ物をする方法を紹介いたします。
電子ジャーナル入門	オンラインで読める学術雑誌の調べ方・使い方を紹介します。

学部1・2年生向け
レポート書き方講座
5月18日(水) 16:30-18:00
中央図書館5階 多目的室

・特別セミナー・

大学生のための
レポート書き方講座

大学で求められるレポートにはいくつかの作法とコツがあります。1・2年生のうちこれを確実に身につけておきましょう。

日時：2011年 5月18日(水)
16:30 - 18:00

場所：中央図書館 5階 多目的室

対象：学部 1・2年生

講師：近田政博 准教授 (高等教育研究センター)

参加申込：事前に予約をお願いします。
申込フォーム
詳細情報トップページ>ガイダンス・講習会
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/literacy/guidance.html>

主催：高等教育研究センター
教養教育院
中央図書館

お問合せ：
中央図書館情報サービス課参考調査係
Tel: 052-789-3679 E-Mail: sanko@nul.nagoya-u.ac.jp

・名古屋大学附属図書館・

レポートを書く基本となる考え方を身につけます。

オーダーメイド講習会

- ・先生方へ：授業の一コマで
 - ・学生の方へ：自主ゼミなどのグループで
- ⇒ご希望の日時・内容で講習会を承ります。

○内容：基本・応用の各講習会のほか、個別データベースや特定のテーマでの検索など、ご相談に応じます。

○日時：平日2～5限の時間帯
(希望日の3日前までにお申し込みください)

授業で図書館の使い方を講習してほしい

レポートの資料、どうやって探す？

データベースの使い方をゆっくり聞きたい

ゼミ仲間講習会を受けたい

図書館の講習会を聞き逃した

と希望の日時・内容で

オーダーメイド講習会

期日：平日2～5限の時間帯
対象：名古屋大学学生、教職員 (1グループ5名以上)
申込：希望日の3日前まで
参考カウンター (平日8:30-17:15) またはEメール
書式・詳細：<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/literacy/guidance.html>
内容(例)：下記以外をご希望の場合はご相談ください。

コース名	内容	対象	所要時間
図書館資料探索法 (講義+実習)	図書館で本を探し入手する方法を、実習しながら説明します。	初級者	60分
授業のための資料探索入門 (講義+実習)	テーマに沿って事典・図書・論文を探る方法を紹介します。基礎ゼミ向け	初級者	60分
図書館ツアー	中央図書館内を案内しながら利用の仕方を説明します。	初級者	30分
電子ブック入門 (講義+実習)	電子ブックを活用して調べものをする方法を紹介します。	初級者	60分
日本語論文の探しの方法 (講義+実習)	日本語で書かれた学術論文の探し方を、実習しながら説明します。	初級者 中級者	60分
電子ジャーナル入門 (講義+実習)	電子ジャーナル (主に洋雑誌) について紹介します。	中級者	60分

附属図書館情報サービス課参考調査係
Tel: 052-789-3679 E-mail: sanko@nul.nagoya-u.ac.jp

開催カレンダー ※会場:中央図書館 2階セミナールームB (「レポート書き方講座」のみ 5階多目的室)

水	金
4/13 15:00-16:00 図書館資料探索法 16:00-16:30 館内ツアー	4/15 14:45-15:45 図書館資料探索法 15:45-16:15 館内ツアー
4/20 14:00-15:00 図書館資料探索法 15:00-15:30 館内ツアー	4/22 14:45-15:45 図書館資料探索法 15:45-16:15 館内ツアー
4/27 14:00-15:00 図書館資料探索法 15:00-15:30 館内ツアー	4/29
5/11 13:30-14:30 図書館資料探索法 14:45-15:45 日本語論文の探し方	5/13 15:15-16:15 電子ブック入門
5/18 14:45-15:45 日本語論文の探し方 16:30-18:00 レポート書き方講座	5/20 15:15-16:15 電子ジャーナル入門
5/25 13:30-14:30 電子ブック入門 14:45-15:45 電子ジャーナル入門 16:00-17:00 図書館で資料を探す	5/27 15:15-16:15 日本語論文の探し方
6/1 13:30-14:30 図書館で資料を探す	

最新情報は図書館内のポスター、またはWebサイトで <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/literacy/guidance.html>
お申込・お問合せ：中央図書館参考調査カウンター (平日8:30-17:15) E-mail: sanko@nul.nagoya-u.ac.jp

(情報サービス課)

基礎セミナー「将来から現在を考える」授業資料ナビ開設の効果

河 出 清

「授業資料ナビ」は、テーマにそった資料探しから研究発表までの流れをサポートするWebページです。学部1年生向けの基礎セミナーを中心に、授業ごとに作成しています。



要旨： 昨年度授業資料ナビ（以下ナビ）開設とともにオーダーメイド講習会（以下講習会）を中央館で行いました。文理融合基礎セミナー（以下セミナー）を終わって、前年までの3年間(2007-9年)と昨年の受講者とを比べると(4年間の受講生は文系51名、理系20名)、図書館利用が増え、受講生のセミナーへの集中力が増した印象があり、(1)参考書籍引用が、前年までは理系の20%弱と文系の約60%程度（平均50%弱）であったのが、全員引用になった、(2)パワーポイントの完成度と発表およびセミナーでの発言内容が良くなった、(3)メールによる毎週の進捗状況報告が、60～70%から、ほぼ全員が毎週報告するようになった。受講生の方に良い結果をもたらし、私にも充実感がありました。今年度もナビと講習会をお願いしたい。

ナビの内容

この基礎セミナーでは、自由にテーマを決めます。テーマ設定、調べの進め方、発表の仕方の参考になるように、ナビは、研究を組み立てる、テーマを絞り込む、図書・論文・新聞記事を探す、インターネットで探す、数値・データを読む、研究成果を発表する、から構成され、参考書籍や検索サイトの紹介があります。

受講生にとってのナビ

ナビには大学での自立した学習に向け多くの本が紹介してあります。中でも、論文の書き方、データの読み方、口頭発表の仕方、の3種類の本、特に論文の書き方を早目に読むことをおすすめします。これらの本を読むことは、ゼミや研究室に配属になってからでは遅いと危機感から始まった新入生向けの基礎セミナーの期待にこたえることにもなります。

本との相性もありますので、ナビで紹介してある書籍を図書館で探し、本の前書きと目次、後書きなどをさっと眺めて、気に入ったものをじっくり読む機会にしたい。調べを進めるにあたっては、本を1冊は読んでほしいと話していますが、残念ながら、理工系の人あまり読書習慣がなく、一

昨年までは、理系の80%強と文系の約40%の受講生はWebだけで済ませていました。ところが、昨年は全員が書籍を引用しています。そのきっかけは、

- (1)ナビで書籍情報を知った、
- (2)講習会でCiNii、OPACによる情報検索方法を知り、図書館によく本を見に来るようになった、
- (3)講習会担当者との出会いを通じて図書館に親近感を持った、
- (4)大学図書館は高校の図書室とは全くレベルが違うことを知った、ことによるようです。ちなみに、一昨年までのセミナーでの理系の書籍引用割合の約20%という数値は、毎年10冊以上の本を継続的に読んでいた人の割合10～20%程度（工学部1年生原子物理学の講義、1994-2004年、挙手による調査）とほぼ一致していました。

図書館には偶然の出会いがあります。図書は主題によって分類されていて、同じテーマの本が同じ場所に集中して置いてあります。CiNiiやOPACで検索して本棚に行ったとき、その周辺の図書も眺めては如何でしょうか。偶然、興味深い本に出会い、偶然の幸運を飛躍にできる、セレンディピティを発揮できるかもしれません。こういう経験をすると、文字を通じて、時代や国籍・年齢を超え、人との出会いを感じます。また、図書館には新規購入書籍を眺めたり、ブラウジングを楽しむ機会、プレゼンテーションやレポートの書き方等の講習会を知る機会があります。図書館に気楽に出掛けるとともに、図書館主催の種々の講習を受けていただきたいと思います。

私にとってのナビ

今回のナビ開設により、論文の書き方、発表の仕方の本を改めて読み、これまでの自分流のやり方を他人の目で見られる機会になりました。理系の私と分野の異なる文系の教員の方々も同じ気持ちで学生さんと接しておられることを知り勇気づけられました。そして、新入生の方にどう表現すると分かりやすいか、重要なことは繰り返し説明する必要のあることを知りました。私も一緒に講習を

受け、附属図書館が学生さんに種々のサポートをされていることを知りました。

今年は受講生の方の集中力を感じました。事前に毎週送られてくる進捗状況報告にメールでコメントすると授業当日までにさらに考えてきて、議論が展開する、という連続でした。多くの人が他人のメールでのやりとりを読んでいて自分の調べに活かしていました。一方、ごく一部ですが、メールをほとんど読まず他人のテーマに関心を示さないでいる人もいて、発表の完成度には歴然とした差、他人から学んでいるかどうかが見れていました。

ゆとり教育はできる人にとっては良い教育だったのではないかと思います。ゆとりを活かして自立した勉強をしてきた学生さんの対応能力の高さと大変良くできることに驚くとともに、一方受講生全体をみると達成度のレベルの広がり大きいことを実感しました。

ナビ開設

ナビ開設は、図書館員の支援のもとに担当者とTAが行うことになっていますが、私は図書館担当者の方にほとんどすべてやっていただきました。残念なことに、前年までは図書館主催の自由参加型の講習会に参加する人が少ないようでした。そこで昨年は授業の早い時期に、文献検索に慣れ図書館活用を促すため、セミナーの一部として、図書館職員の方にお問い合わせオーダーメイド講習会を行っていただいたのが大変良かったと考えています。また、教員の多くの方は自分の講義のHPを開設されていると思いますが、私も基礎セミナーのHPに毎週の講義メモ・進捗状況報告、配布資料、受講生の方の感想文等をのせています。HPは学生のためだけでなく、セミナー運営の様子がわかりナビ担当者の参考にもなります。授業資料ナビとオーダーメイド講習会ならびにHPを有機的に活用されては如何でしょうか。

中央図書館への期待とお願い

図書館員の方が多くの労力を掛けて準備されたナビです。多くの学生教員の方が活用できるよう、附属図書館HPの入り口から、ナビにさっとアクセスできるようにしていただけるとありがたい。

3～4年生になると学部の図書室利用が増えると思いますが、1～2年生の多くは中央図書館が頼りになります。種々の講習会開催、図書との知的出会いと偶然の幸運を今後もアピールされ、

図書館に出かけて勉強する学生さんが多くなるように、一層の働きかけをしていただければと思います。

さらに顔の見える図書館に向け、ナビを準備作成された方のお名前をナビに載せることを検討していただければ、今後もお願ひしやすいくと考えています。

謝辞 丸投げの状態でお願ひしたにもかかわらず学生さんに好評なナビと講習会を担当していただくとともに、原稿に適切なコメントをいただいた中央図書館参考調査掛安福奈美様にお礼申し上げます。

補足:基礎セミナーの進め方:受講生が自由にテーマを決める。

セミナーの目的;

- (1) 調べ学習から脱皮し、自立した学習、将来展望のある知的共有財産を目指す。
- (2) 調べの進め方、データの読み方、結果のまとめ方、発表の仕方を学ぶ。

毎回の進め方;

- (1) 1週間の進捗状況報告を200～400字程度にまとめ、全員に事前に毎週送信する。
- (2) 3～4回目ごろからパワーポイント(ppt)を準備し始め、以後毎週送信する。
- (3) メールを事前に見ておく。

調べの進め方;

- (1) 初めに仮説(結論)を設定する。調べの進展に応じて、柔軟に仮説を変える。
- (2) 調べを始める前の新鮮な自分の考えを記録しておく。
- (3) 根拠に基づいて結論を出す。
- (4) 情報は使う人に責任がある。自分と他人の成果を区別する。引用資料の出典を明記する。
- (5) パワーポイントを用いて、予備、中間、最終の3回発表する。

配布資料;基礎セミナーガイダンス、メールマナー、パワーポイント(ppt)の作り方

「将来から現在を考える」

<http://homepage2.nifty.com/michikakushu/meidai/>
(かわで・きよし 非常勤講師)

※オーダーメイド講習会については本号3ページをご覧ください。

附属図書館 2011 年春季展 こひつぎれ 「古筆切をたのしむ」 開催中

中央図書館4階の展示室では、現在2011年春季展「古筆切をたのしむ」を開催中です。

古筆切とは、古人の筆跡で書かれた歌集や物語、経典などの巻物や冊子が、数行ないし一葉の断簡(切)に分割されて伝来したもので、軸装されて茶の湯の装飾品や、手鑑に貼り合わせて観賞用になり、また豪華な料紙に書かれたものは、贈答品などにされました。

今回の展示では、館蔵資料の中から、本学名誉教授の後藤重郎氏(1921-2006)が収集した『新古今和歌集』の古筆切のなかでも名品を厳選して公開しています。

平安末期から鎌倉初期の天皇であった後鳥羽院(1180-1239)や室町幕府を開いた足利尊氏(1305-1358)、『新古今和歌集』の撰者でもある藤原家隆(1158-1237)が書いたとされるものなど、当館初公開の墨跡から、古の人びとのいぶきを感じてみませんか。



(情報サービス課)



「大学教育改革フォーラム in 東海 2011」が開催されました

「大学教育改革フォーラム in 東海2011」が3月12日に、名古屋大学 I B 電子情報館と中央図書館で開催されました。東海地域の大学・短大等で教育改善に取り組む教員や職員の交流会として毎年開催されているものです。

セッションの一つ「図書館を通じたアカデミックスキルの育成」が中央図書館ラーニング・コモンズのオープンスペースで開催されました。当日は約50名の参加者が報告に熱心に耳を傾け、活発な意見交換が繰り返されました。

IB電子情報館ではポスターセッションが開催され、中央図書館からラーニング・コモンズの報告で参加しました。今年は特にライティング支援についてのポスター発表を行いました。



左：座長 木俣 元一氏(名大)
右：報告者 紅露 剛氏(南山大)



報告者 塩村 耕氏(名大)



ポスター発表「ライティングサポート in ラーニング・コモンズ～空間・人・資料～」

(情報サービス課)

《図書室紹介シリーズ》

生命農学図書室へようこそ

渡 邊 明日香

生命農学図書室は、生命農学研究科・農学部内にある部局図書室です。地下鉄名古屋大学駅を出て東の方向へ、理学部A館、B館、C館まで越え、さらに今度は北方向へ進むと、前方に大きなメタセコイアが見えてきます。そこが生命農学研究科・農学部です。メタセコイアの隣にある建物の2階に、生命農学図書室があります。

図書室の周りには、メタセコイア以外にもいろいろな樹木があります。窓越しに見えるのは、サンシュユ、コブシ…。そんな木々には季節によって、メジロやシジュウカラなどさまざまな鳥がやってきます。生命農学図書室は、四季折々の自然を感じられる、そんな空間でもあるのです。

当図書室は、改修工事などを終えたばかりの新しいぴかぴかの図書室というわけではありません。むしろ学内でも一、二を争う「昔ながらの図書室」となっていました。ですが、毎日多くの方が訪れる、明るく賑やかな雰囲気のある図書室だと思います。

それでは、図書室の中に入ってみましょう。図書室の扉は自動ドアです。名古屋大学内の方は、自由にお入りください。(学外の方は一声おかけください。) 荷物もそのままお持ちいただき、ご自身で管理をお願いします。自動ドアを入ると、両側に何か機械がありますね。これは、貸出手続きをしていない資料に反応してブザーを鳴らす、資料の無断持ち出しを防ぐための機械です。とはいっても当図書室においては、

資料が行方不明になることなどほとんどありません。この機械のおかげもあるのかもしれませんが、それ以上に、当図書室を利用されるみなさんが資料を大切に扱ってくださっているからだと思います。いつもご協力ありがとうございます。

入口の左手に、カウンターがあります。貸出、返却、その他問い合わせなど、このカウンターですべてお受けします。カウンターに座っている職員か、その奥の図書室事務スペースにいる職員に気軽に声をかけてくださいね。

さて、そのまままっすぐ奥へ進むと、閲覧室と書架スペースが見えてきます。書架の資料はすべて手にとって自由にご覧いただけます。一番手前の書架には、学習用の図書が並んでいます。生命科学分野・農学分野の図書が中心です。実験マニュアル、論文の書き方に関する本、教科書の原書なども積極的に収集しています。その奥には参考図書が並んでいます。参考図書とは、辞書や事典のように調べ物に使う資料で



図書室内の様子



図書室カウンター

す。動物図鑑、植物図鑑など、さまざまなカラーの図鑑も充実しています。さらに奥には新着雑誌、国内雑誌があります。自然科学分野では今や電子ジャーナルの利用が一般的となっていますが、それでもやはり紙の雑誌を手に取り、最新号をぱらぱらとめくってチェックされている方の姿も見かけます。当図書室では雑誌も貸出ができますので、気になる雑誌があれば一度手に取ってみてはいかがでしょうか。

書架にぐるりと囲まれるようにして、約100

席の閲覧席があります。大きな窓から光が入る明るいスペースで、多くの学生さんたちが学習や研究のため利用されています。

さて、次は閲覧室・書架スペースの隣、書庫に入ってみましょう。ここは、積層式書庫と呼ばれる書庫で、実は2階建てになっています。1階には外国雑誌のバックナンバー、2階には研究用の図書と、1階と同じく外国雑誌のバックナンバーが収容されています。この資料もすべて自由に手に取ることができます。

書庫を出てカウンターのところまで戻ってくると、カウンターの向かいに小さな部屋があることがわかります。ここは、新聞閲覧室と呼ばれる部屋です。新聞や読み物雑誌がたくさん置いてあります。学生さんだけでなく教職員のみなさんもしばしばここを訪れ、新聞や雑誌を読みながらのんびりと過ごしておられます。オレンジページやTokaiWalkerなど、みなさんが普段書店で目にするような雑誌もたくさんあります。勉強の合間にここの雑誌で情報を集めて、今日の献立を考えたり、週末の計画を立てたりするのも良いかもしれませんね。

最後に、図書室のサービスについてご紹介させていただきます。生命農学図書室では、ガイダンス・講習会などを充実させるべく努力しています。その中心は毎年春に開催している「文献検索ガイダンス」です。新しく研究室に配属になった4年生の方や院生の方を主な対象として、文献検索の手順や各種データベースの使い方などのガイダンスを行っています。図書室恒例行事となり、毎年100名ほどの学生さんにご参加いただいております。

今年はメインテーマを「自分の研究テーマに関する先行研究を集めよう！」と設定し、みなさん一人一人の研究テーマに即した実習を行いながら、文献検索の方法・データベースの使い方を自然に学んでいただけるような内容にしようとして計画しています。具体的には、まず自分の研究テーマの先行研究について各種データベースを使って検索してみます。その後、見つかった先行研究論文が載っている雑誌がどこにあるかを探します。紙の雑誌を探して棚まで行かなくとも、電子ジャーナルの形でパソコンから見られるものもたくさんあるでしょう。最後に、集めた論文のデータをEndNote Webと呼ばれる文献管理ツールに取り込んで整理します。自分の研究テーマに関する論文だけを集めたオリジナルデータベースを作っておくわけです。以上のようなことを、ガイダンスではみなさん一人一人に行っていただきます。私たち職員がサポートしますので、わからないことは何でも聞いてくださいね。たくさんのご参加お待ちしております。

もちろんこの春の期間だけでなく、ガイダンスはご要望に応じていつでも開催します。学年も問いません。何かわからないこと、困ったことなどありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

当図書室は、生命農学研究科・農学部の方に限らずどなたでも利用可能です。今年度も、たくさんの方に当図書室を利用していただきたいと思っていますので、興味を持たれましたらぜひ一度お立ち寄りください。お待ちしております。

(わたなべ・あすか 生命農学図書室)



新聞閲覧室

利用できる電子ブック・データベースが増えました！

インターネットで検索できる辞典や新聞記事などのサービスがさらに充実しました。学内のPCからいつでも利用できます。レポートや論文の資料集めなどにぜひ活用してください。

▶ The Times Digital Archive 1785-1985

(新聞記事)

世界の政治・経済にも大きな影響を与えた「ロンドン・タイムズ」の創刊から200年間の全号アーカイブです。膨大なコンテンツを記事本文から検索できるほか、写真・図表・広告などもすべて収録しており、さまざまな分野の歴史を追うことができます。



▶ 聞蔵IIビジュアル (新聞記事)

朝日新聞の記事検索データベースの利用範囲が広がりました。従来は戦後(1945年～)のみ利用可能でしたが、明治・大正・昭和前期を含む創刊(1879年)から現在までの紙面を総合して検索できるようになりました。東京・大阪紙面の両方を収録しており、比較も可能です。



▶ 国史大辞典Web (電子ブック・歴史)

日本史の学習・研究に欠かせない、最大級の日本歴史大百科「国史大辞典」全15巻(17冊)のデジタル版を導入しました。

書籍版の本項目約5万4,000項目を収録しているほか、見出しだけでなく各項目の本文、中見出し、参考文献、執筆者などデジタル版ならではの検索が可能です。



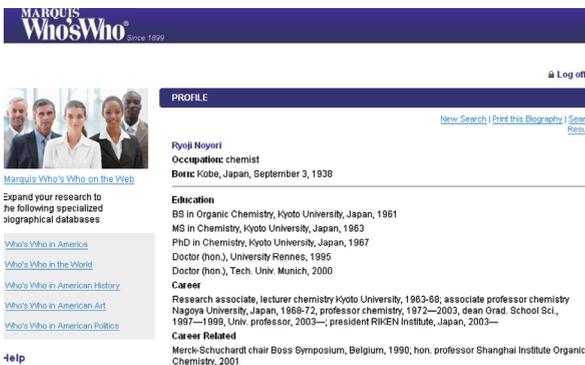
愛知県北西部に位置し、伊勢湾に面する市。県庁所在地。古くは那古屋と書き、のち名見屋・名護らから名古屋・名護屋が併用され、次第に名古屋が多く用いられるようになった。名古屋の別称で、蓬萊島と見えて、その左(西から見て)にあることによる。東洋文庫蔵『江家次第』表書「建春野野庄傳家職相伝承図」に平安時代末期の荘園名としてみえるのが初見。ついで貞治三年(一三六二)「勘決記」(真福寺蔵)奥書に「尾張国那古野荘安養寺」とある。一五二〇年代に今川氏親が那古野

▶ Marquis Who's Who

(電子ブック・人名辞典)

Marquis社が刊行する、世界中の各分野を網羅した人名辞典(20種以上)を同時に検索できる、最大級の人物検索サービスです。

最新情報は毎日更新されます。1985年以降のすべての版を収録しているため、故人や最新版に掲載のない人物も調べることができます。



上記のほかにも、多くの電子リソースを導入しています。

* PCで検索できる事典や参考図書類は

電子ブック案内 <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/ebook/ebook.html>

* 新聞記事のほか、学術論文の検索は

データベース案内 <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/>

(情報サービス課)

ブックハンティングを開催しました

2月21日(月)、名大生協Booksフロントにて、本学の学生・大学院生によるブックハンティング(選書ツアー)を実施しました。

これは、学生・大学院生自身に選書を体験してもらい、中央図書館学習用図書の蔵書構成に関心を持ってもらうという趣旨で実施したもので、昨年10月16日(土)のホームカミングデイの際に実施された「本のリユース市」の収益金(132,000円)等を、このための費用に充当しました。当日は大学院生2名、学部学生3名が参加しました。参加者は書店前に午前10時に集合し、中央図書館職員により中央図書館学生用図書の選書基準等について説明を受けた後、約1時間半にわたり書店内をまわり選書を行いました。

選書後に行われた反省会では、「他人のために図書を選ぶのは難しいので、自分が面白いと思えるものを選んだ」とか「文系学生である自分にも理解できるような理系の入門的図書を選んだ」というような選書にまつわる意見の他、「“入門書コーナー”のようなものがあったらいいのでは?図書の難易度が専門外の学生には判別しづらいので」といった中央図書館への提言も寄せられました。

ブックハンティングで選書された図書は、既に中央図書館で所蔵されているものを除き購入される予定になっています。利用可能になった後、コーナーを設け、選書した学生のコメントを付して一定期間展示する予定ですので、ぜひ手にとってご覧ください。

(資料管理掛)



選書中の学生



平成 22 年度特別図書（人文・社会科学系）一覧

特別図書は、人文社会科学系の大学院研究科における教育・研究に必要な図書資料、または名古屋大学として備えるべき参考図書を選定しており、中央図書館に備え付けられています。平成22年度は下記13点を購入しましたので、ご活用ください。

1. The Oxford Encyclopedia of Ancient Greece and Rome (オックスフォード版古代ギリシャ・ローマ百科事典), edited by Michael Gagarin 7 vols.

ギリシャ・ローマなど古代地中海世界の文化に関し包括的に解説した百科事典。扱われている時代は青銅器時代から5世紀まで。古典古代以後における、古代文化の解釈・影響についても取り上げられている。収録分野は、哲学、歴史、文学、科学、芸術など多岐にわたる。古代哲学、古代史、古典文学、地域研究といった分野の研究に有益な資料である。

(配置場所：中央参 209.3_{II}G)

2. Bibliotheca Georgiana 10 Unitsのうち、

Unit 6 : Topical Writing マイクロフィッシュ

18世紀イギリスの政治・経済・社会と密接に関わる文学資料が収録されている。通常の文学作品とは異なり、日本では閲覧が不可能な歴史資料が殆どである。文学関係者の他、歴史・経済・思想史など人文学領域の幅広い研究に用いることができる資料である。

(配置場所：中央M MF_{II}90000)

3. 『昭和前期刊行図書デジタル版集成』「社会科学部門」－「教育」(団体著作物)のうち学校経営、学校衛生、教員検定 AHE-001～005 CD-ROM

本資料の特徴はその網羅性である。国立国会図書館所蔵の膨大な資料を集成した本資料はまた、今回初公開の発禁書等の「特」文献を含む一大コレクションである。日本の戦前期を知る資料として、教育学関係者のみならず、様々な分野の研究者にとって類書のない第一級の資料。

(配置場所：中央参 308_{II}Ko)

4. Compte général de l'administration de la justice civile en France, (puis)... de la justice civile et commerciale en France / par le Garde des Sceaux, Ministre Secrétaire d'Etat au Département de la Justice. (Pendant les années 1820-1844 et 1845). Paris, 1831-1847.

フランスで最初の公式の民事司法統計であり、19世紀前半の七月王政の時期をほぼカバーするもので、一審裁判所から最高裁にあたる破毀院の民事裁判の活動が統計として出され、また年度ごとの国王への報告書も付されている。本資料は、フランスにおいて21世紀転換期から活発になってきた「司法史」研究のための第一級の資料であり、さらにフランス法制史のみならず、比較史、経済史、社会史研究の観点からも有益な資料である。

(配置場所：中央参 1 F 327.935_{II}G)

5. 『江戸商家・商人名データ総覧』

田中康雄 編 (全7冊)

江戸時代の問屋仲間の「名前帳」や「名簿」、各種記録文書中の仲間商人連名、買物案内、地誌、武鑑に掲載されている商人の屋号、名前、住所、業種等のデータ約74,000件を収録した資料集である。例えば、「諸問屋名前帳」や「問屋株帳」の記事により、営業権、相続、住所変更等の異動事項の詳細も知ることができ、近世商業史・経営史・商人史・商法史な商業に直接かかわる研究の基礎資料のみならず、広く近世の文学、歴史、法律、経済、風俗、文化等の研究に活用しうる資料である。

(配置場所：中央図 1 F 672.1361_{II}Ta)

6. 『近世公家名鑑編年集成』深井雅海、藤實久美子 編 全23巻のうち、第I期7冊

寛文7年(1667年)から慶応4年(1868年)に至る200年分の皇室・親王家・門跡・朝廷の役人等に関する名鑑というべき『公家鑑』を編年収録したもの。従来利用されている『地下家伝』、『系図纂要』、『公卿補任』等の史料だけでは得られない情報、たとえば、幕末末期の動向、公家・門跡の家臣名、屋敷地等もこれにより知ることができる。本資料は、近世朝廷・公家研究の基礎資料であるとともに、和歌、書道、管弦等の伝統公家文化研究や、『公家鑑』そのものを通じた出版文化の研究等にも活用可能なものである。

(配置場所：中央図 4 F 281.035_{II}H)

7. 『営業報告書集成』第6集(部分)

マイクロフィルム

「営業報告書」は、現代の企業が発行している「有価証券報告書」の前身にあたるもので、19世紀末から1950年前後までの日本の各企業が発行していたものである。そこには、損益計算書、貸借対照表、事業の概要、株式名簿等が記され、企業経営の研究に必須の重要な資料である。

(配置場所：中央M)

8. Agricultural Economics: Critical Concepts in Economics (農業経済学：経済学の重要概念), edited by G. L. Cramer 4vols.

農業経済学に関する理論的・実践的な視点から見て、重要で最も影響力ある研究を包括的に収録した論文集。国際開発学の立場から農業・農村研究を進める上での必携資料である。生産経済学、資源・環境経済学、農業関連産業、マーケティング、消費経済学、農業政策、国際貿易、国際経済学といった諸分野を含む。

(配置場所：中央図1F 611.1C)

9. International Relations of the Asia-Pacific (アジア太平洋の国際関係), edited by Shaun Breslin and Richard Higgott 4vols.

近年のアジア太平洋国際関係に関する重要論文を集大成したもの。冷戦終結後の重要テーマと諸問題を扱う論文を多数収録している。安全保障、国際政治経済学、地域のガバナンス等のテーマを含む。

(配置場所：中央図1F 319.2B)

10. International Institutions (国際機関), edited by Judith L. Goldstein 4vols.

安全保障、経済、環境など様々な分野における国際機関に関する代表的な研究論文をまとめたもの。国際法、国際関係論等の教育・研究に幅広くかかわる基本図書である。

(配置場所：中央図1F 329.39C)

11. Feminist Economics (フェミニスト経済学), edited and with a new introduction by Drucilla K. Barker 4 vols.

フェミニスト経済学の研究成果を網羅した論文集。1991年に国際フェミニスト経済学会が設立されたのを契機に加速したこの分野の研究が、テーマごとに整理されてまとめられている。索引および論文解題を含む。フェミニスト経済学のみならず、ジェンダー、開発経済学等の研

究に有益である。

(配置場所：中央図1F 367.2B)

12. イラストレイテド・ロンドンニュース(復刻)第6巻～第9巻(No.140(1845年1月)～No.243(1846年12月))

1842年にイギリスで創刊された挿絵入り新聞であり、19世紀欧米で開花したグラフ・ジャーナリズムのさきがけともいえるもの。イギリス国内の政治・社会・文化をはじめ、その植民地や日本を含めた諸外国の政情・風俗レポートまで華麗な木版画を多用して報道している。イエイツら時代を代表する文筆家たちが記事を寄せており、近代イギリス文化研究の貴重な資料である。

(配置場所：中央図4F 073.3I)



イラストレイテド・ロンドンニュース

13. 尾州海東郡万場村佐藤家文書

佐屋街道の宿場である万場村(現名古屋市中川区)の庄屋を務めた佐藤家に伝来した古文書であり、新田開発・経営関係資料、庄屋等として尾張藩代官所と交信した願達(がんだつ)類、明治期の戸長役場資料等約800点からなる資料である。名古屋市南部・庄内川流域に展開した新田開発や尾張の宿場町の実態解明など、近世・近代の地域研究に資する特色ある資料である。

(配置場所：研究開発室)

(資料管理掛)

本学教員著作物寄贈リスト

中央図書館では、教員著作物を積極的に収集しています。平成22年12月-平成23年2月は下記の図書を寄贈していただきました。ここにあらためてお礼申し上げます。

■ 2部以上の寄贈をいただいたときは、中央図書館2階の展示コーナーに展示させていただきます。

■ 下記の配置場所に配架されています。どうぞご利用ください。

所 属	寄贈者名	寄贈資料名	資料ID	配置場所
情報基盤センター	外池 俊幸	「入門」ことばの世界 / 瀬田幸人 [ほか] 編著. -- 大修館書店, 2010.12	11729106	中央学 3F 801/Se
法 学 研 究 科	大屋 雄裕	成長なき時代の「国家」を構想する : 経済政策のオルタナティブ・ヴィジョン / 中野剛志編. -- ナカニシヤ出版, 2010.12	11729777	中央学 3F 332.1/N
生命農学研究科	山口 佳子	痛みのケア : 慢性痛、がん性疼痛へのアプローチ / 熊沢孝朗監修・編集. -- 照林社, 2006.6	11729822	中央学 3F 492/Ku
生命農学研究科	山口 佳子	痛み学 : 臨床のためのテキスト / ジュニー・ストロング [ほか] 編. -- 名古屋大学出版会, 2010.1	11724534	中央図 1F 492/St
理 学 研 究 科	福井 康雄	大宇宙の誕生 : 「銀河のたまご」からブラックホールの新しい顔まで / 福井康雄[著]. -- 光文社, 2006.8. -- (知恵の森文庫 ; ふ5-1)	11731892 ほか	中央図S 440.4/H
理 学 研 究 科	福井 康雄	宇宙100の謎 : 珍問難問 / 福井康雄監修. -- 東京新聞出版局, 2008.10	11731889 ほか	中央学 3F 440.4/H
理 学 研 究 科	福井 康雄	私たちは暗黒宇宙から生まれた : ALMAが解き明かす宇宙の全貌 / 福井康雄編. -- 日本評論社, 2004.12	11731886 ほか	中央学 3F 440.4/H
理 学 研 究 科	福井 康雄	宇宙史を物理学で読み解く : 素粒子から物質・生命まで / 飯嶋徹 [ほか] 編. -- 名古屋大学出版会, 2010.5	11731882 ほか	中央図 1F 440/I
情報科学研究科	米山 優	情報学の展開 : 情報文化研究への視座 / 米山優著. -- 昭和堂, 2011.2	11734117	中央学 3F 116.5/Y
文 学 研 究 科	佐々木重洋	北設楽小林花祭り / 佐々木重洋 小林花祭保存会編. -- [東栄町]: [小林花祭保存会], 2009.3	11735653	中央図 1F 386.8155/Sa
国際開発研究科	浅川 晃広	「在日」論の嘘 : 贖罪の呪縛を解く / 浅川晃広著. -- PHP研究所, 2006.5	11735648	中央学 3F 316.81/A
発達心理精神科学教育研究センター	永田 雅子	周産期のこころのケア : 親と子の出会いとメンタルヘルス / 永田雅子著. -- 遠見書房, 2011.1	11736446	中央学 3F 495.5/N
名 誉 教 授	柏瀬 和司	実験を楽しみ自分から学ぶ入門物理学 / 柏瀬和司著. -- ブックコム, 2010.10	11736516	中央学 3F 420.75/Ka

